

1 . 件名 : 福島第一原子力発電所 2 号機原子炉建屋における作業員の放射性物質の内部取り込みに係る面談

2 . 日時 : 令和 2 年 2 月 6 日 ( 木 ) 1 7 : 2 6 ~ 1 7 : 3 4

3 . 場所 : 原子力規制庁 3 階 ERC テレビ会議システム

4 . 出席者 :

原子力規制庁

長官官房総務課 事故対処室

村田室長、斉藤室長補佐

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、岩永企画調査官

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 運転・保安グループ担当

他 1 名

5 . 要旨 :

- 原子力規制庁は、本日発生した福島第一原子力発電所 2 号機原子炉建屋における作業員の放射性物質の内部取り込みに関し、以下の点について事実関係の問い合わせを実施した。
  - ( 1 ) 作業員が行っていた作業内容はどんなものか。
  - ( 2 ) 作業現場の周辺雰囲気汚染状況は解っているのか。特に 核種の検出はなかったのか。
  - ( 3 ) 作業員が取り込んだ核種はどんなものか。
- これに対し、東京電力ホールディングス株式会社より、以下のとおり回答があった。
  - ( 1 ) 2 号機原子炉建屋大物搬入口にて、主蒸気逃がし安全弁 ( SR 弁 ) の予備品、部品類を撤去するため、フレコンバッグに収納する作業を行っていた。
  - ( 2 ) 作業前にエリア周辺の核種分析を行っており、核種については検出されていない。また、協力企業作業員の鼻スミヤの結果からも 核種の検出はなかった。
  - ( 3 ) 具体的な核種については分析中であり、判明次第報告する。

6 . その他

資料 : なし